



2008年度決算説明会

2009年5月11日

積水化成品工業株式会社
証券コード(4228)

1 . 2 0 0 8 年度決算の概要

2 . 中期経営計画「DASH50 Stage」
(2006～2008年度)の総括

3 . 2 0 0 9 年度計画の概要

2008年度決算概要

単位：百万円

	2007年度	2008年度		前期比	修正 計画比
	実績	修正計画	実績		
売上高	98,561	102,000	96,102	△2.5%	△5.8%
営業利益	2,028	4,100	4,119	+103.1%	+0.5%
経常利益	1,463	4,000	3,881	+165.2%	△3.0%
当期純利益	712	2,150	2,111	+196.3%	△1.8%

上期は高機能品の売上好調、下期は汎用品の価格改定浸透で
営業利益は計画達成(過去最高 1989年度 3,715百万円 を更新)

セグメント別業績概要 樹脂事業

単位:百万円

樹脂事業	2007年度		2008年度		
	上期	年間	上期	年間	(修正計画)
売上高	20,053	41,006	22,131	39,256	(45,200)
営業利益	671	1,300	1,138	2,435	(2,560)

エスレンビーズ:水産・建材用途の不振に加え、下期は家電梱包用途の減少や輸入品の増加が響き売上減。利益は下期に製品価格改定が浸透し、成形子会社も含め増加。

ピオセラン:上期は自動車・デジタル家電用途が好調。下期は減速も年間では売上増を確保。

下期は上期対比22%減、修正計画対比38%減。

テクポリマー:液晶向け光拡散用途の下期急減で売上減少。

テクノゲル:日東電工(株)ハイドロゲル事業譲受の効果で売上増加。

セグメント別業績概要 シート事業

単位:百万円

シート事業	2007年度		2008年度		
	上期	年間	上期	年間	(修正計画)
売上高	21,263	43,173	21,097	43,227	(43,900)
営業利益	496	930	479	1,494	(1,490)

エスレンシート:需要低調と容器軽量化の影響で売上数量減少も、製品価格改定効果で売上金額は増加。

09年3月末 サンポリマーPSP事業譲受完了。

ライトロン、セルペット、ネオマイクロレン:デジタル家電の完成品・部品搬送用緩衝材が下期不振で売上減。

技研化成(子会社):構造改革効果で営業黒字化。

セグメント別業績概要 建材事業・その他事業

単位：百万円

建材事業	2007年度		2008年度		
	上期	年間	上期	年間	(修正計画)
売上高	4,792	9,732	4,066	8,982	(8,500)
営業利益	△145	△220	△98	82	(0)

建材分野：住宅着工不振や低採算品撤退で売上減も、
 価格改定と構造改革効果で利益回復。
 土木分野：EPS土木工法や周辺商品が堅調に推移。

黒字転換を達成

単位：百万円

その他事業	2007年度		2008年度		
	上期	年間	上期	年間	(修正計画)
売上高	2,337	4,648	2,100	4,635	(4,400)
営業利益	5	11	10	111	(50)

ファーストフード向け紙容器：顧客の新商品への採用が下期寄与。

貸借対照表の概要

連結貸借対照表

単位:百万円

	2008/3	2009/3	増減
資産合計	91,342	92,553	+1,210
現金及び預金	5,689	6,104	+415
受取手形及び売掛金	24,199	25,106	+906
たな卸資産	8,262	7,986	△276
有形固定資産	39,597	40,840	+1,243
投資有価証券	8,230	7,338	△892
繰延税金資産	2,135	1,491	△643
その他	3,230	3,688	+458

	2008/3	2009/3	増減
負債合計	45,791	47,268	+1,476
支払手形及び買掛金	16,021	14,083	△1,938
有利子負債	12,196	17,151	+4,955
退職給付引当金	3,021	1,490	△1,530
その他	14,553	14,544	△9
純資産合計	45,551	45,285	△265
株主資本	42,394	42,869	+475
評価・換算差額等	2,258	1,542	△715
少数株主持分	899	872	△26

受取手形及び売掛金: 売掛債権流動化残高の減少により増加

有形固定資産: サンポリマーPSP蓮田工場譲受などにより増加

投資有価証券: 保有株式の一部を退職給付信託に設定などにより減少

キャッシュ・フロー計算書、設備投資の概要

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	2007年度	2008年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,099	2,982	△1,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,827	△5,786	△958
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210	3,352	+3,563
現金及び現金同等物の期末残高	5,523	6,018	+494

設備投資の状況

単位:百万円

	2007年度	2008年度
設備投資	4,281	5,500
減価償却費	4,050	4,060

< 主な設備投資 >

サンポリマーPSP蓮田工場譲受
ピオセラノ欧州工場建設

配当、自己株取得・消却

2008年度 配当

当社創立50周年(2009年10月)を迎え、株主への感謝の意を表するため
普通配当8円に記念配当2円を加えて、年間配当金10円を予定
(2008年度の連結配当性向 46.0%)

自己株取得・消却

2008年度は292.5万株を取得、200万株を消却

(これまでの自己株式取得・消却の累積)

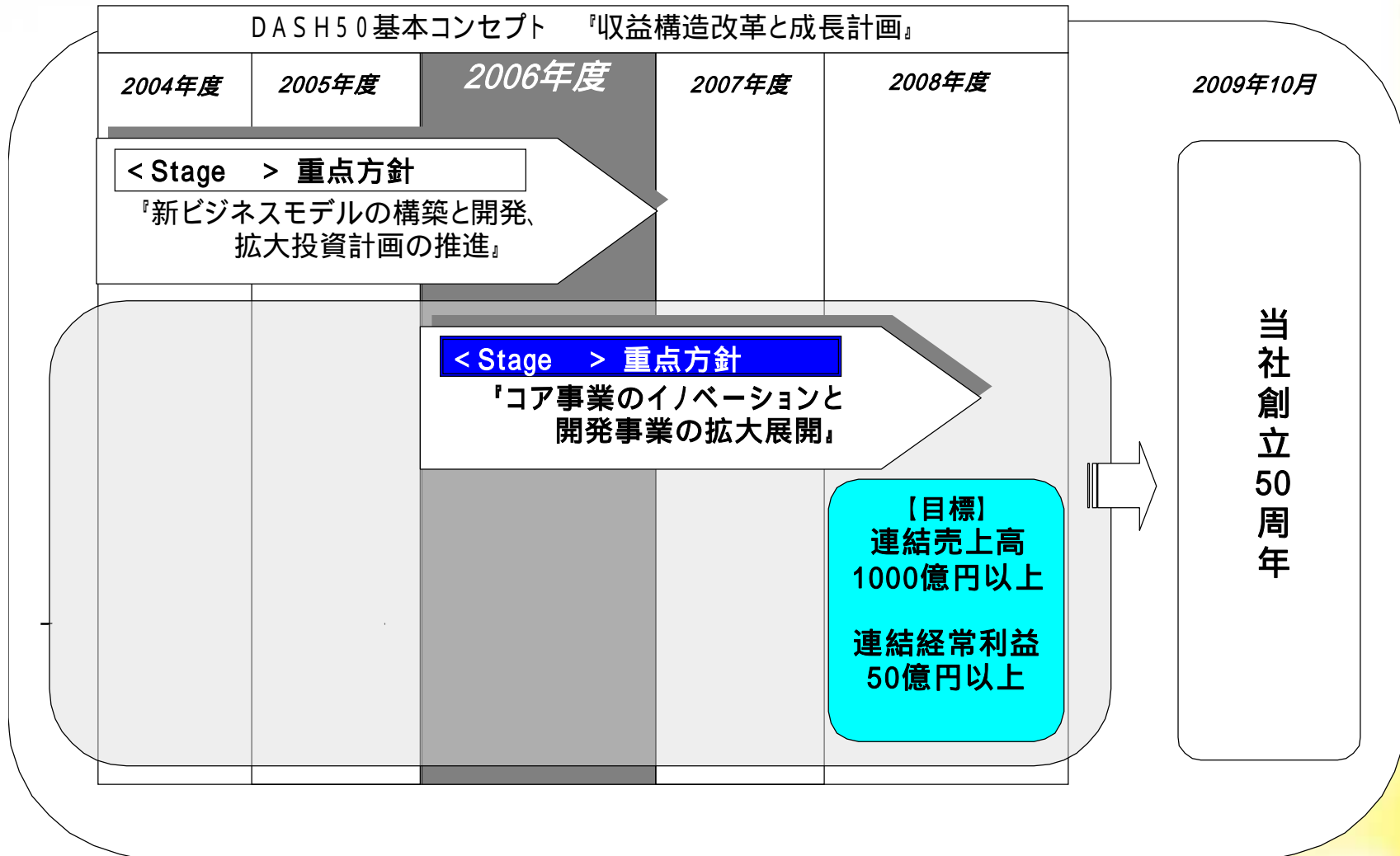
取得722.7万株(取得前発行済株式数の6.9%)、消却449.8万株

1 . 2 0 0 8 年度決算の概要

2 . 中期経営計画「DASH50 Stage」
(2006～2008年度)の総括

3 . 2 0 0 9 年度計画の概要

【DASH50 Stage】基本コンセプト



【DASH50 Stage】重点課題

DASH 50 Stage

<コンセプト> 収益構造改革と成長計画

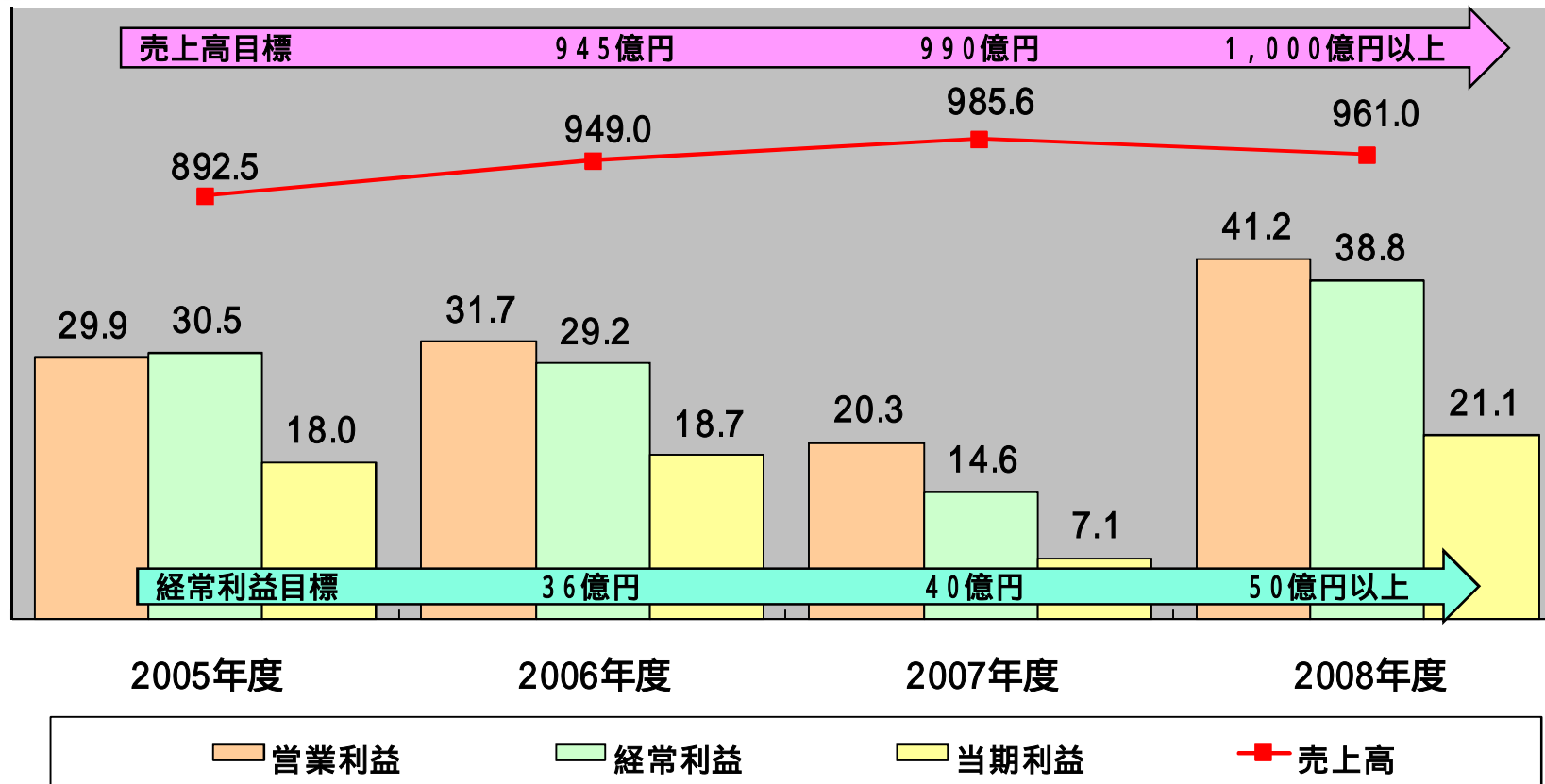
～コア事業のイノベーションと開発事業の拡大展開～

【重点課題】

1. 発泡プラスチック事業のイノベーション
既存事業の事業力強化
高機能発泡材料の事業拡大
環境対応事業の拡大
2. 高機能材料事業の拡大
テクポリマー・テクノゲルの事業拡大
3. 新事業の育成と立ち上げ

【DASH50 Stage】収益推移

単位：億円



重点課題について着実に成果は出たものの、原材料価格乱高下と世界同時不況の影響を受け最終目標の売上高1000億円以上、経常利益50億円以上は達成できず。

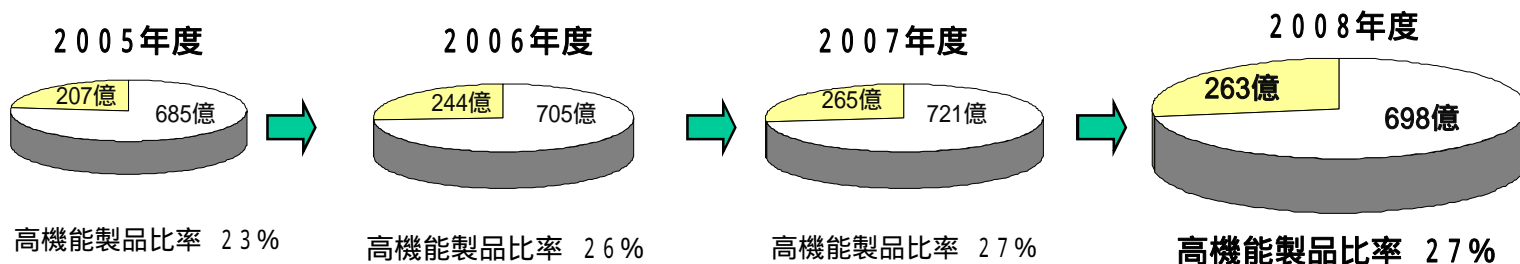
【DASH50 Stage】 事業ポートフォリオ変革

高機能製品の成長による事業ポートフォリオ変革

...成長市場と海外拡販で高機能製品の比率向上

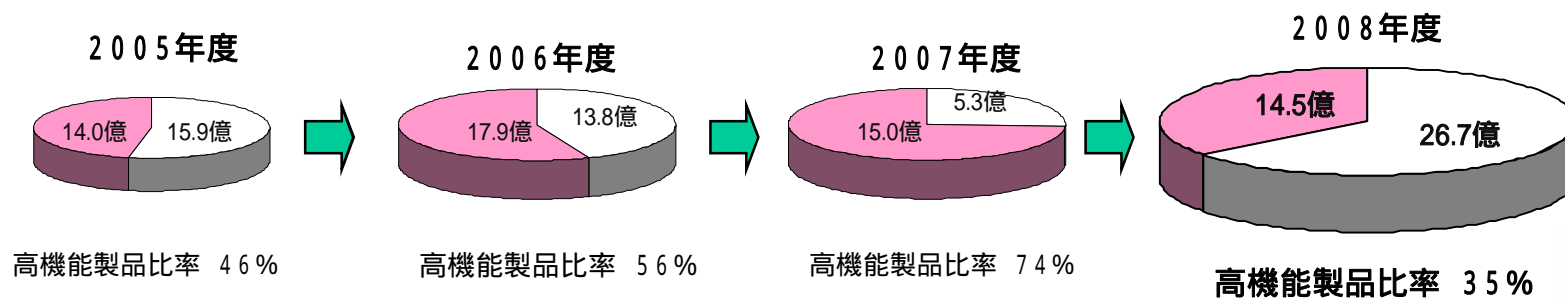
売上高

目標 30%



営業利益

目標 60%



2008年度上期までは当初計画ペース。下期に高機能製品が減速し目標は未達。

【DASH50 Stage】既存事業の競争力強化

不採算事業・子会社の採算改善

< 建材事業 >

2004年度より赤字が継続(建材分野の価格競争激化、住宅着工件数の減少)



建材分野の事業体制再構築(人員合理化・生産効率化など)
(08年1月)

不採算商品からの撤退、原材料価格高騰の製品価格転嫁を推進



5年ぶりに黒字転換を実現

< 国内子会社 >

原燃料価格の高騰を末端ユーザーに転嫁しきれず、採算が悪化

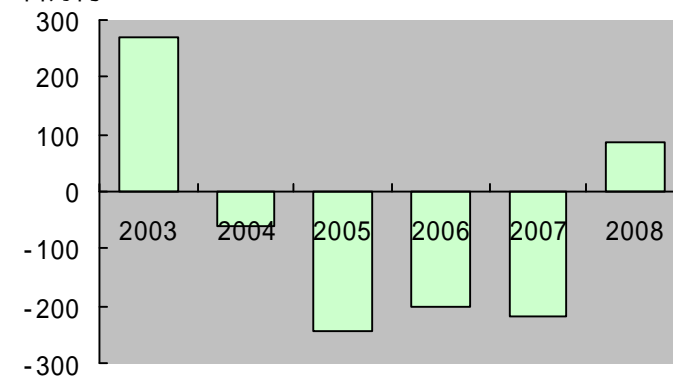


全グループあがての採算改善活動を実施
(省エネ、価格改定、SKG改善活動)
赤字会社については、抜本的構造改革を実施

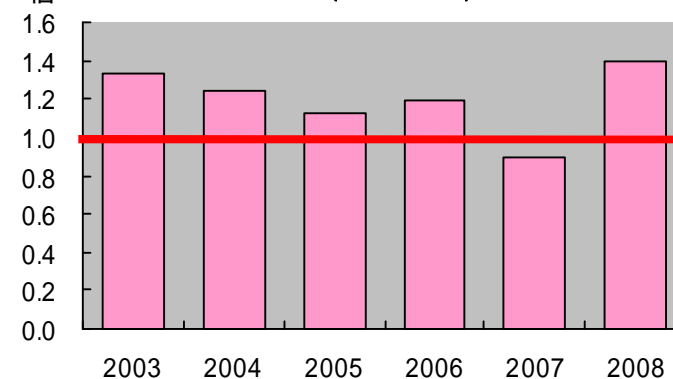


連単倍率を大幅改善

百万円 建材事業営業利益推移



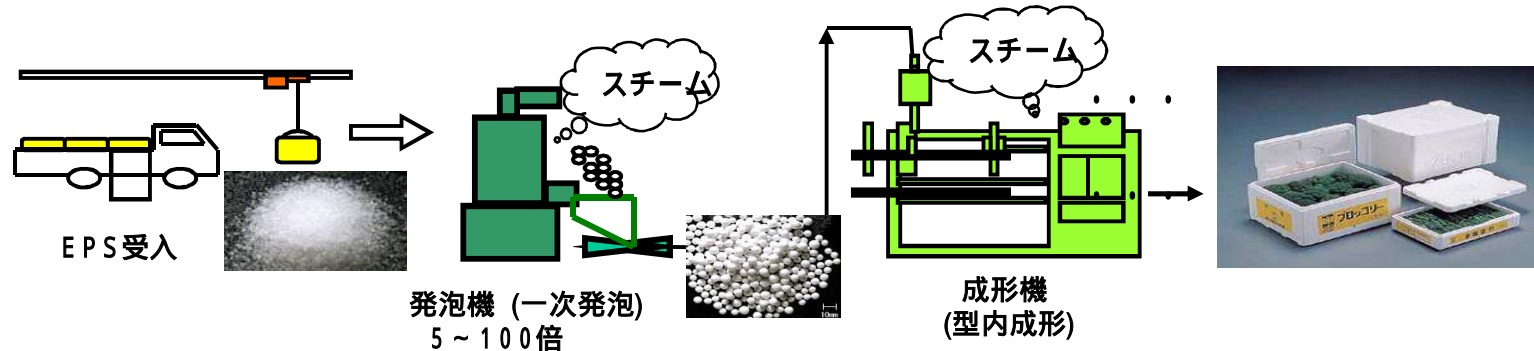
倍 連単倍率(営業利益)推移



【DASH50 Stage】既存事業の競争力強化

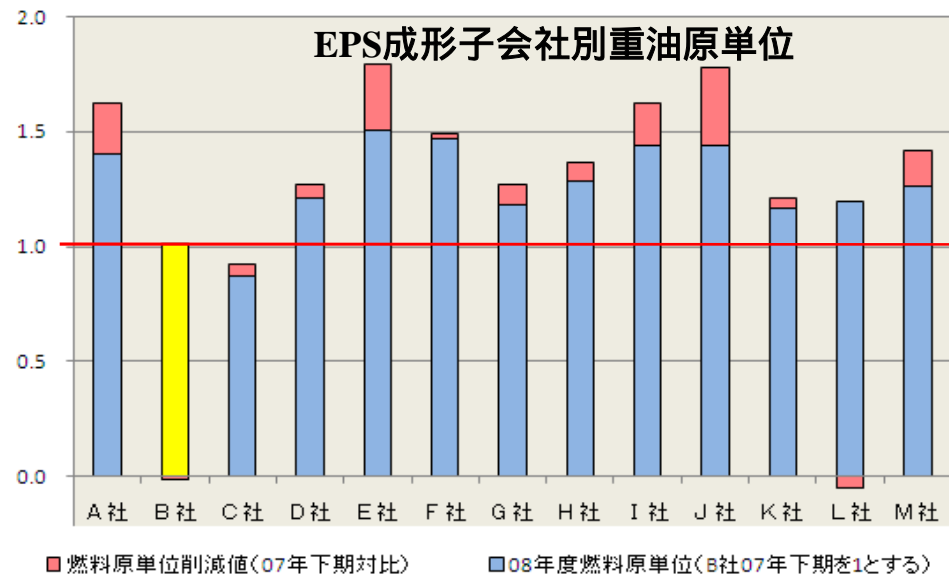
子会社の省エネ徹底推進

EPSの発泡・成形プロセス→発泡時にスチームが必要なため重油を使用



＜グループ総力をあげた省エネの取り組み＞
 ...重点項目の統一化と徹底取り組み
 ・配管・金型の徹底した蒸気漏れ対策
 ・ボイラー・成形機の圧力ダウン
 ・成形工程の見直し 等
 ...ベンチマーク(B社)を目標に重油原単位削減推進

2008年度重油・電力費1.1億円の削減
 (重油単価上期急騰の影響を緩和)



【DASH50 Stage】既存事業の競争力強化

S K G改善活動の進展

...積水(S)化成品(K)グループ(G)が一体となって行う改善活動

生産現場の「ものづくり力」強化、現場で働く人々のレベルアップ

2006年からスタート→現在国内全グループ生産事業場(31箇所)、220チームで展開中



パート・派遣社員も含めた全員参加型活動展開

QC検定は260名が合格

安全・省エネをテーマとするチームの設置義務化

沖縄樹脂化学工業(株)



(株)セキホー広島

(株)積水化成品山口

(株)積水化成品大分

九州エスレン工事(株)

(株)積水化成品北海道

(株)積水化成品滋賀

(株)積水化成品天理

天理化工(株)

(株)フォーメック

(株)セキホー関西

技研化成(株)

(株)セキホー四国

(株)積水化成品関東

(株)積水化成品佐倉

ホクエイ化工(株)

セキスイウレタン加工(株)

笠原化成(株)

湘南積水工業(株)

ワコー産業(株)

(株)積水化成品群馬

(株)積水化成品埼玉

三積エンジニアリング(株)

【DASH50 Stage】既存事業の競争力強化

EPS・PSP業界再編の動き

EPS

2008年4月 JSPが日立化成のEPS事業の
営業権を譲受



PSP

2009年3月 当社がカネカ子会社サンポリマーの
PSP事業を譲受

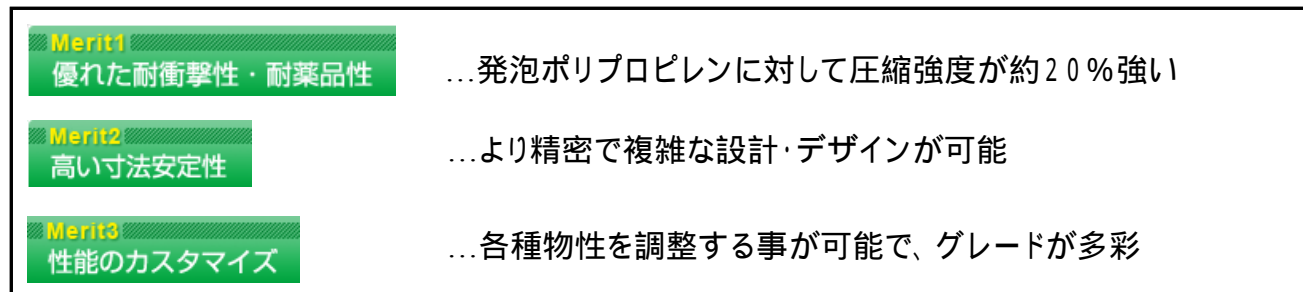


生産は新会社(株)積水化成品埼玉)で行い、
販売は当社で行う。

【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

ピオセララン

...ポリスチレンとポリオレフィンを組み合わせた当社独自の複合樹脂発泡品



自動車部材

デジタル家電緩衝材

【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

自動車部材

...2005年48車種 国内全乗用車メーカーのべ81車種に採用

SEKISUI Hybrid Solution
PIOCELAN

バンパー芯材

高上げ材

ツールボックス

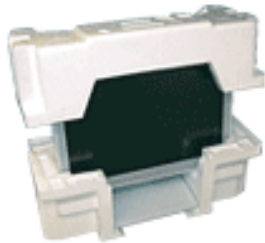
シート芯材
2008年度
3車種に採用

下肢部衝撃吸収材

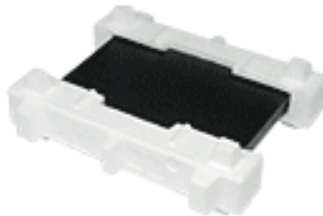
ドアパッド

【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

デジタル家電緩衝材



液晶テレビ用緩衝包装材



ノートパソコン用緩衝包装材

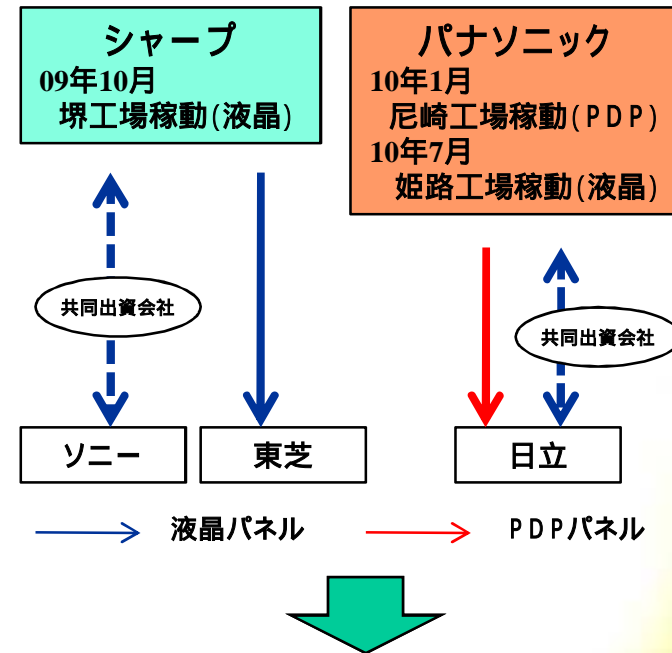


液晶モジュール搬送用BOX
(50インチ)



5.5世代対応大型ガラス
搬送用容器

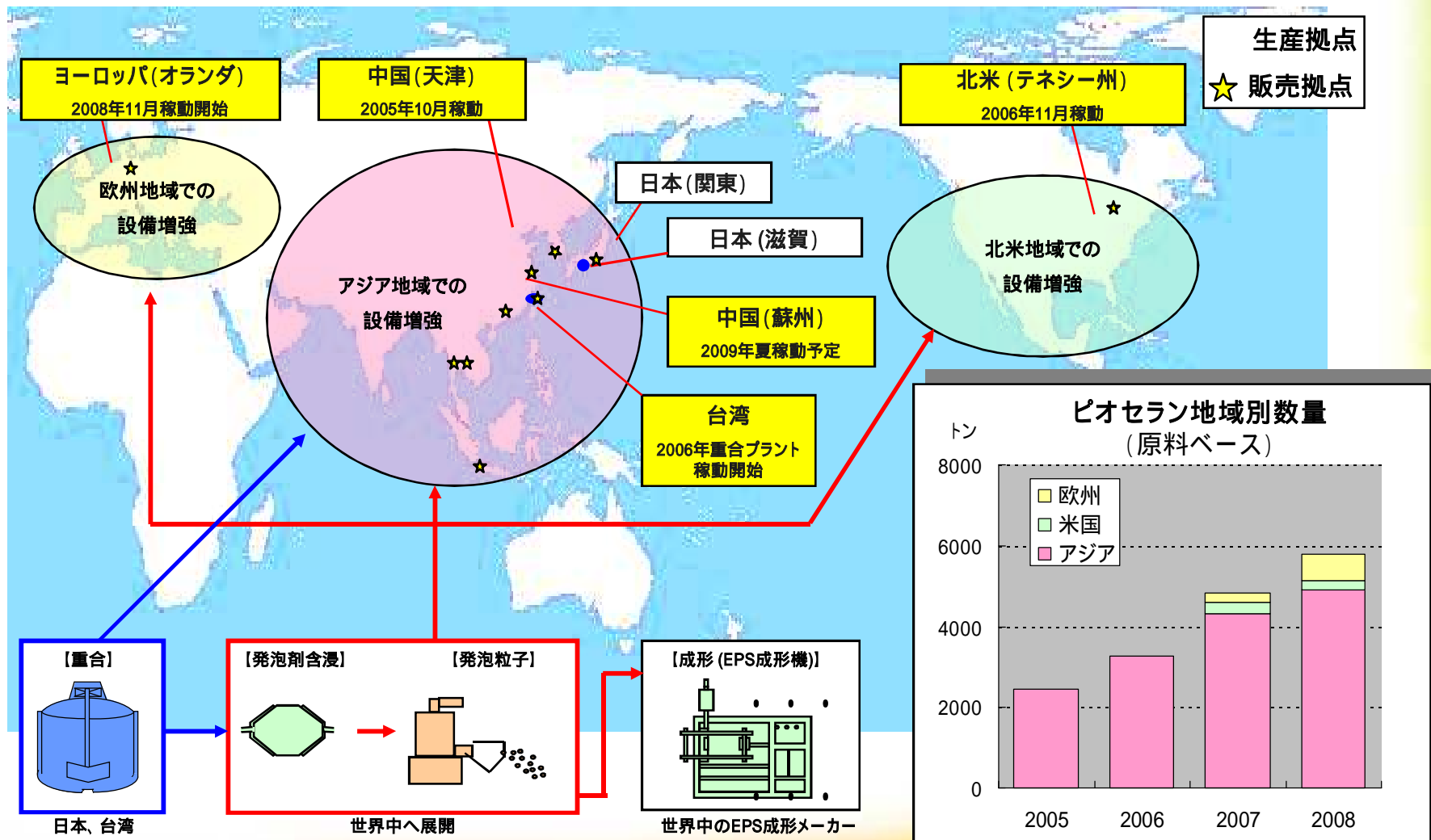
薄型テレビパネルの生産 集約化が進む



パネル搬送用BOXの需要が増加

【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大

ピオセラングローバル供給拠点の構築・・・現時点での需要予測における拠点構築はほぼ完了



【DASH50 Stage】高機能発泡製品の事業拡大



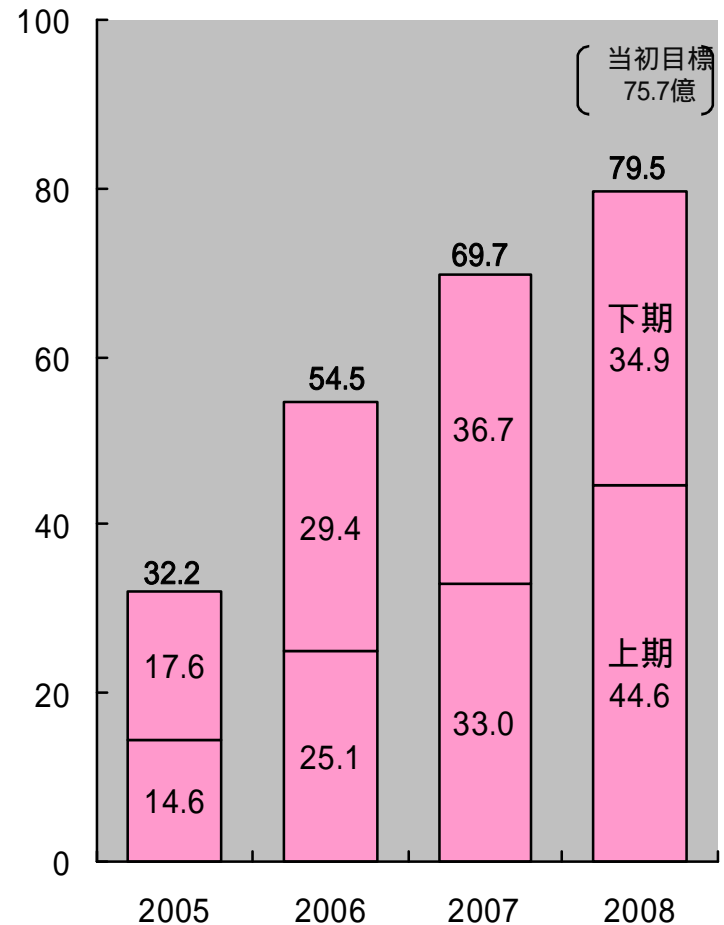
【DASH50 Stage の成果】

自動車部材は日系自動車メーカーでの採用が国内外で着実に増加
 薄型テレビパネル搬送容器が大幅に増加
 中国、北米、欧州での生産拠点が整い、グローバル供給が進展
 ユーザーニーズに対応した製品の高機能化が進む(高剛性化、高倍率化、低VOC化)
 生産プロセス革新によりグローバル物流費を大幅に削減

【今後の課題】

中国蘇州工場、シャープ堺コンビナート内成形工場のスムーズな立ち上げ
 欧米での需要拡大策具体化
 景気回復時における需要見極めと臨機応変な対応

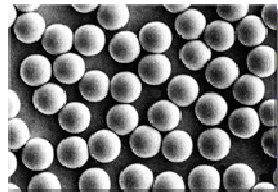
億円 ピオセラン売上高



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

テクポリマー

当社独自の重合技術から生まれた有機微粒子ポリマー
(3 μm ~ 200 μm)



標準品



非真球状



多孔質状



塗料用途 (艶消し効果)

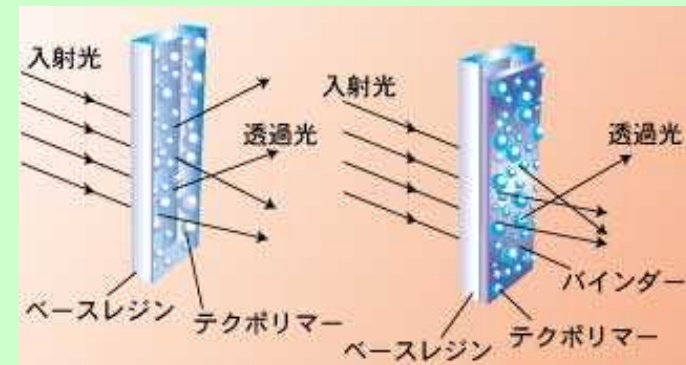


化粧品用途 (しわ隠し、滑り性、触感改良)



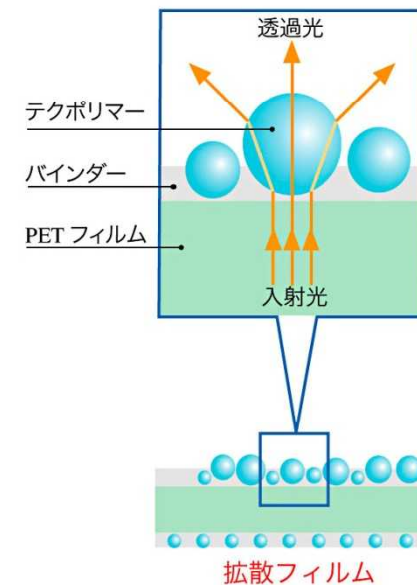
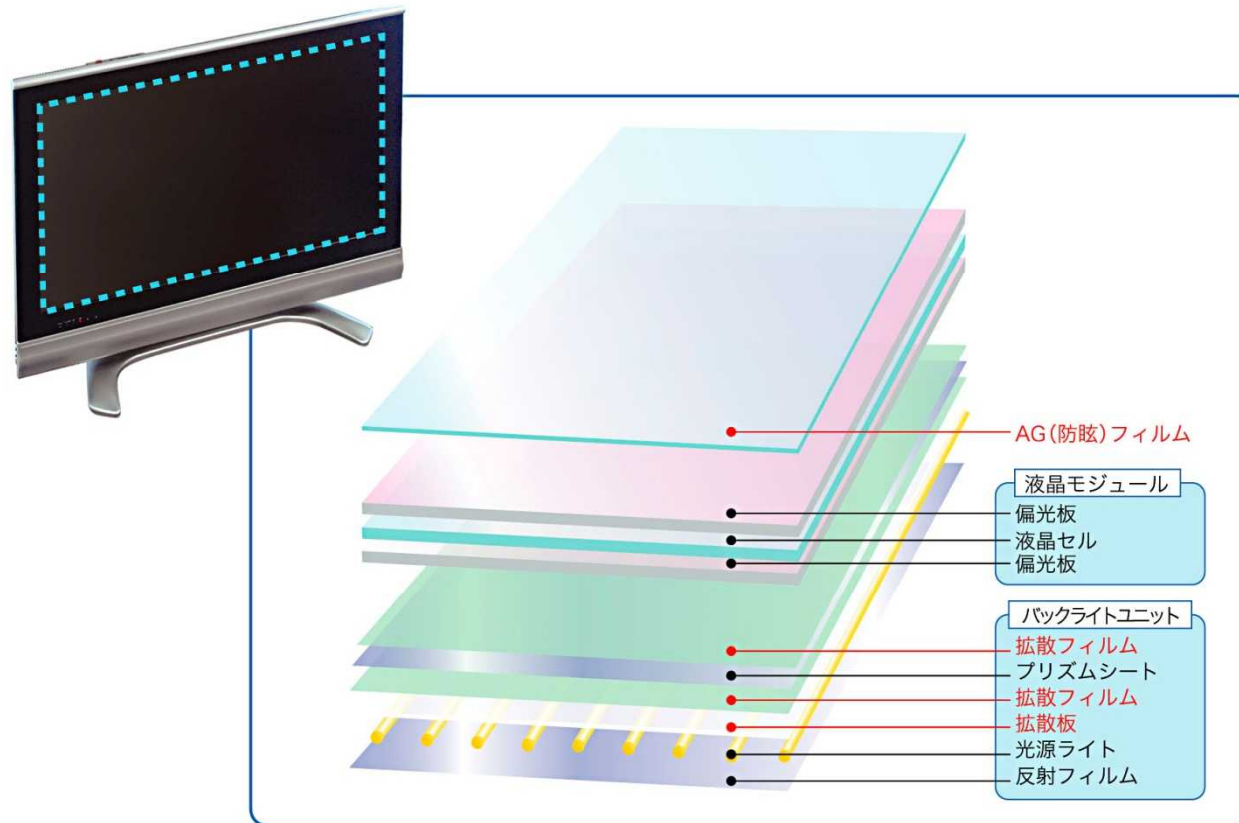
光拡散用途

パソコンやテレビの液晶ディスプレイに使用。球状粒子の持つ、均一な光拡散効果でディスプレイ全体を明るくしたり、ディスプレイを見やすくしたりするのに役立っています。



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

液晶テレビの構造



テクポリマーの主な使用部材・・・拡散フィルム、拡散板、AG (防眩) フィルム

【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

【DASH50 Stage の成果】

液晶テレビ需要拡大に対応した拡散フィルム向けが増加

防眩(AG)フィルム、複合機能シート向けなど用途開発が進む

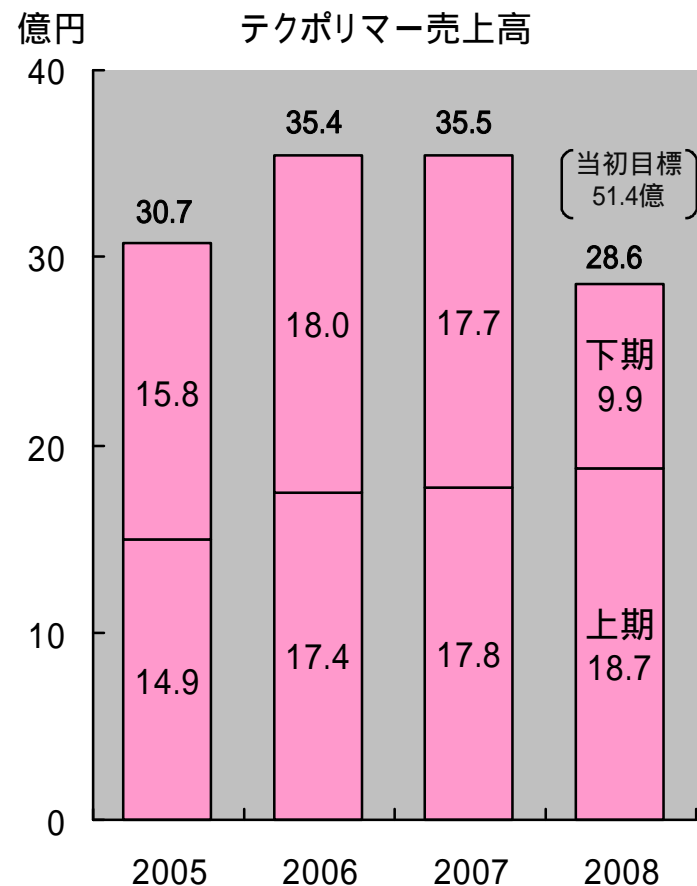
非真球状、多孔質状など新品种開発

液晶部材価格下落の影響で製品単価ダウン
バックライトユニットの部材複合化の流れで1台あたりの使用量が減少

08年下期の液晶部材需要急減の影響を大きく受ける

【今後の課題】

部材価格下落に対応した生産プロセス革新によるコスト削減
光拡散分野以外の用途開拓



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

テクノゲル

当社独自技術による導電性ハイドロゲル

低周波治療器用パッド



心電図用電極



各種パック材



電気メス用対極板



美容機器用パッド



【DASH50 Stage】高機能材料の事業拡大

【DASH50 Stage の成果】

08年度日東電工ハイドロゲル事業を譲受
商権・品種が拡大
ゲルシートの拡販遅れ

< 譲受事業の製品 >

アクリル系高分子ゲル(低周波治療器用電極・心電図用四肢電極)

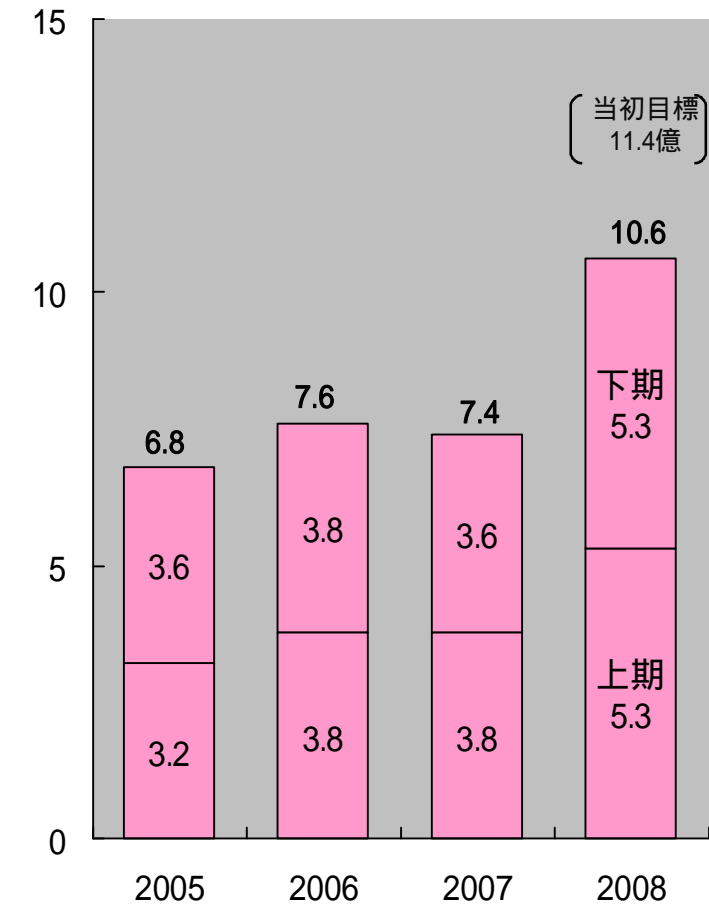
ウレタン系ゲル(心電図用胸部電極)



【今後の課題】

加工品の合理化による固定費削減
(営業や加工拠点の集約化)
ゲルシートの品質確立、海外拡販

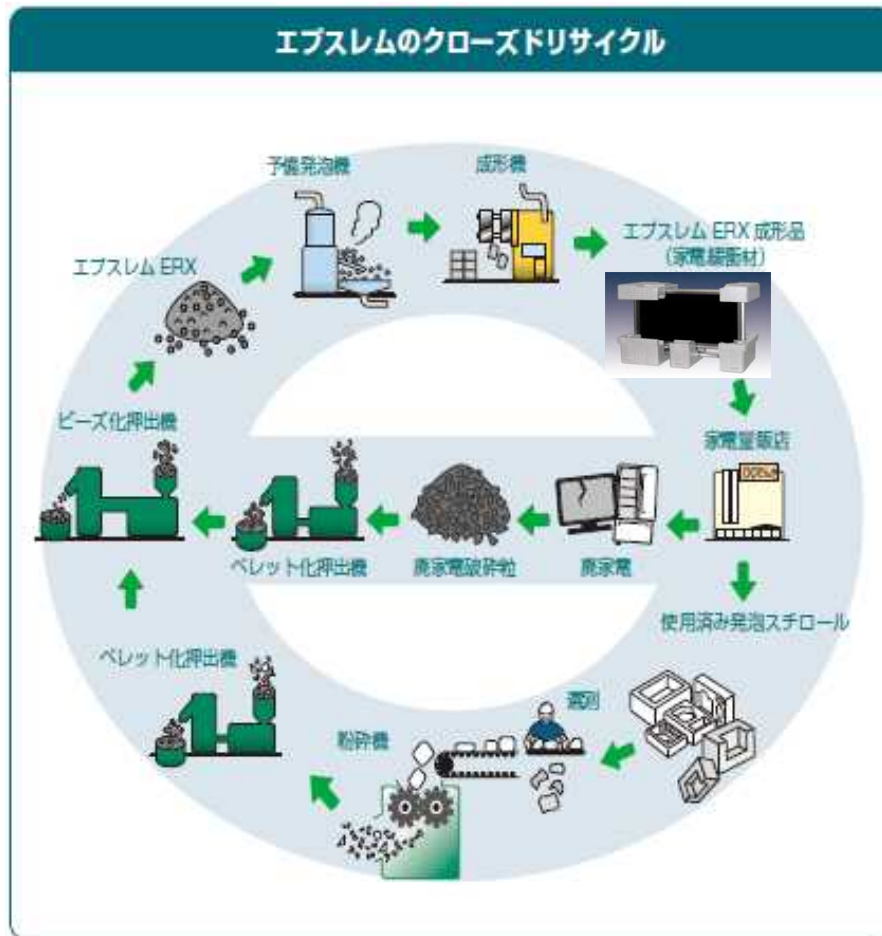
億円 テクノゲル売上高



【DASH50 Stage】環境対応事業の拡大

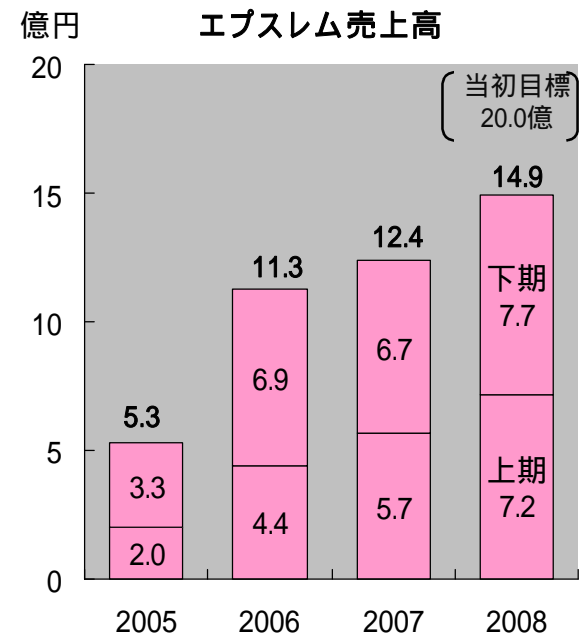
エプスレム

廃家電樹脂等を利用したリサイクルビーズ



【DASH50 Stage の成果】
シャープの大型液晶テレビ緩衝包装材が順調
新規用途開拓が進まず

【今後の課題】
パージン品との差別化(コストメリット)実現
海外展開(中国など)の具体化



【DASH50 Stage】新事業の育成と立ち上げ

バイオセルラー

…植物由来樹脂発泡体

ポリ乳酸樹脂(PLA)

トウモロコシなどの植物から製造される樹脂(カーボンニュートラル性を有する環境負荷が低い材料)

【ポリ乳酸樹脂(PLA)の特性】

…環境適性・耐溶剤性・耐候性
×…耐熱性(通常60℃)

加熱寸法安定性が低く、ビーズ法発泡体として実用化困難

加熱寸法安定性を高めるためには結晶化度を高める必要がある

結晶化度を高めると成型加工が困難

当社独自開発の製造プロセスにより、結晶化度を成型加工中に低く抑制し、最終製品では結晶化度を高くする技術を開発

世界で初めて150℃の加熱寸法安定性を有するビーズ法PLA発泡体を開発

【特長】

加熱寸法安定性に優れる:EPSやEPPより優れた加熱寸法安定性

優れた成型性:省エネ成型可能(低温成型85~90℃)
3D形状の成型可能

耐油性・耐候性に優れる:PLAが本来持つ特性を保持
着色が容易:鮮やかなカラービーズが得られる、成形品へのペイント処理も容易
VOCが発生しない

【DASH50 Stage の成果】

商品開発プロジェクトチームで用途探索
高炉用ヘルメットインナーで採用される

【今後の課題】

本格事業化に向けた取り組み(自動車部材など)



【DASH50 Stage】新事業の育成と立ち上げ

レフテラス

…光学用反射板

当社の高機能樹脂発泡シートをさらに進化させ、光学用途に対応
＜素材＞発泡層を有する無延伸PP系積層シート

【特長】

高反射率: 全反射率98%以上(うち98%以上が拡散成分)→光ムラの低減に貢献

高剛性: 高いハンドリング性を有する→組み立て時の作業性向上に貢献

熱成形性: 熱成形により形状付与が可能

【熱成形のメリット】

バックライトユニットや光源に合わせた光学設計の自由度が向上

適切な成形により光源の反射効率をアップさせることが可能(明るさアップ・光源数低減・光ムラの低減)

成形により設置剛性がアップ

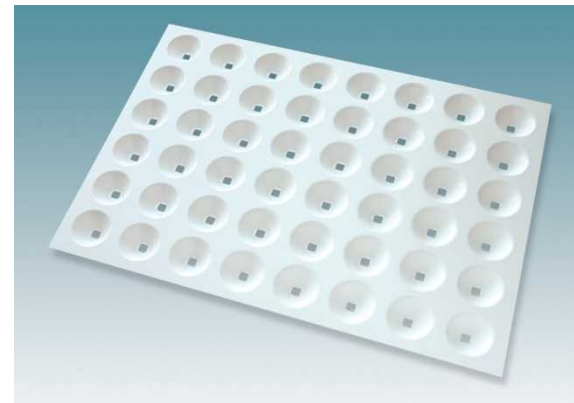
【DASH50 Stage の成果】

電飾看板用に採用される

LCD用途は価格要求厳しく採用に至らず

【今後の課題】

差別化ポイント(成形性、高剛性)を明確にし
事業化推進



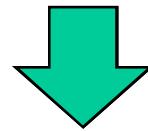
1 . 2 0 0 8 年度決算の概要

2 . 中期経営計画「DASH50 Stage」
(2006～2008年度)の総括

3 . 2 0 0 9 年度計画の概要

2009年度計画策定にあたって

当社創立50周年である2009年10月に、今後の50年を見据えた新たなグループ経営ビジョンを発表



2009年度は単年度計画とし、2010年度から新ビジョンに基づく新たな中期経営計画を策定



< 2009年度の経営環境 >

世界的な景気低迷は当面続く見込み・・・国内個人消費の減速も懸念

関連業界の在庫調整進展、世界的な景気対策を背景に生産底入れの兆し



当社グループを取り巻く経営環境は予測が極めて困難な状況

2009年度 計画概要

単位:百万円

	2008年度		2009年度		前期比
	上期	年間	上期	年間	
売上高	49,395	96,102	43,100	91,000	△5.3%
営業利益	1,529	4,119	1,160	3,200	△22.3%
経常利益	1,507	3,881	1,060	3,000	△22.7%
当期純利益	682	2,111	500	1,600	△24.2%

売上高は、高機能品は上期苦戦が続き、汎用品は原料価格下落に対応した販売単価ダウンにより減収見込み
 利益は、高機能品の上期利益減を汎用品の採算維持でカバーするが、退職給付費用増加に伴う固定費増加などにより減益見込み
 (2009年度高機能製品比率計画:売上高29%、営業利益38%)

2009年度 セグメント・設備投資計画

単位:百万円

		2008年度		2009年度	
		上期	年間	上期	年間
樹脂事業	売上高	22,131	39,256	16,600	36,400
	営業利益	1,138	2,435	600	1,900
シート事業	売上高	21,097	43,227	21,000	42,500
	営業利益	479	1,494	620	1,320
建材事業	売上高	4,066	8,982	3,500	7,700
	営業利益	△98	82	△20	40
その他事業	売上高	2,100	4,635	2,000	4,400
	営業利益	10	111	△40	△60

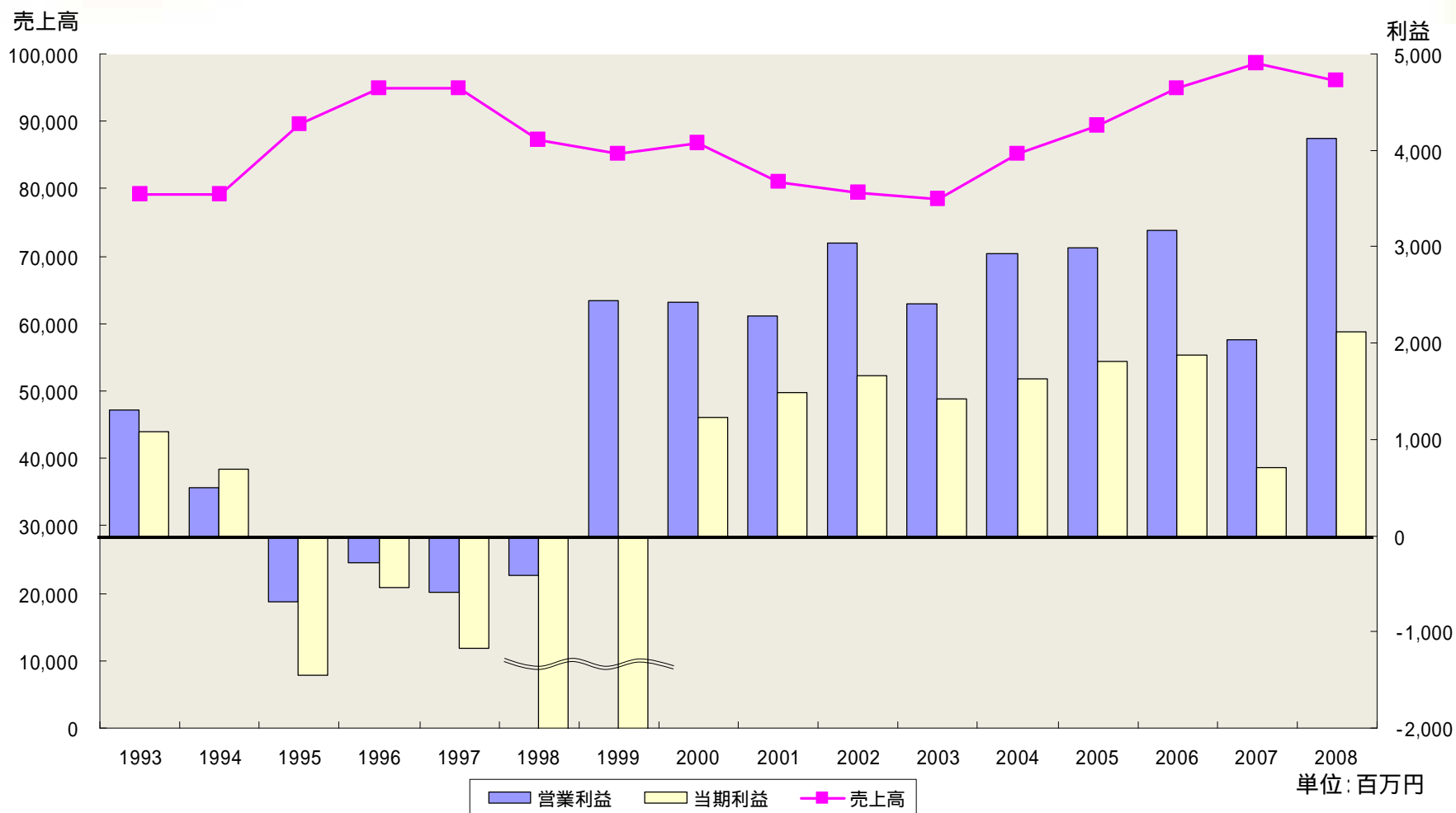
	2008年度	2009年度
設備投資	5,500	4,500
減価償却費	4,060	4,470

< 主な設備投資 >

ピオセラン蘇州工場建設
 シャープ堺コンビナート内
 ピオセラン成形工場建設

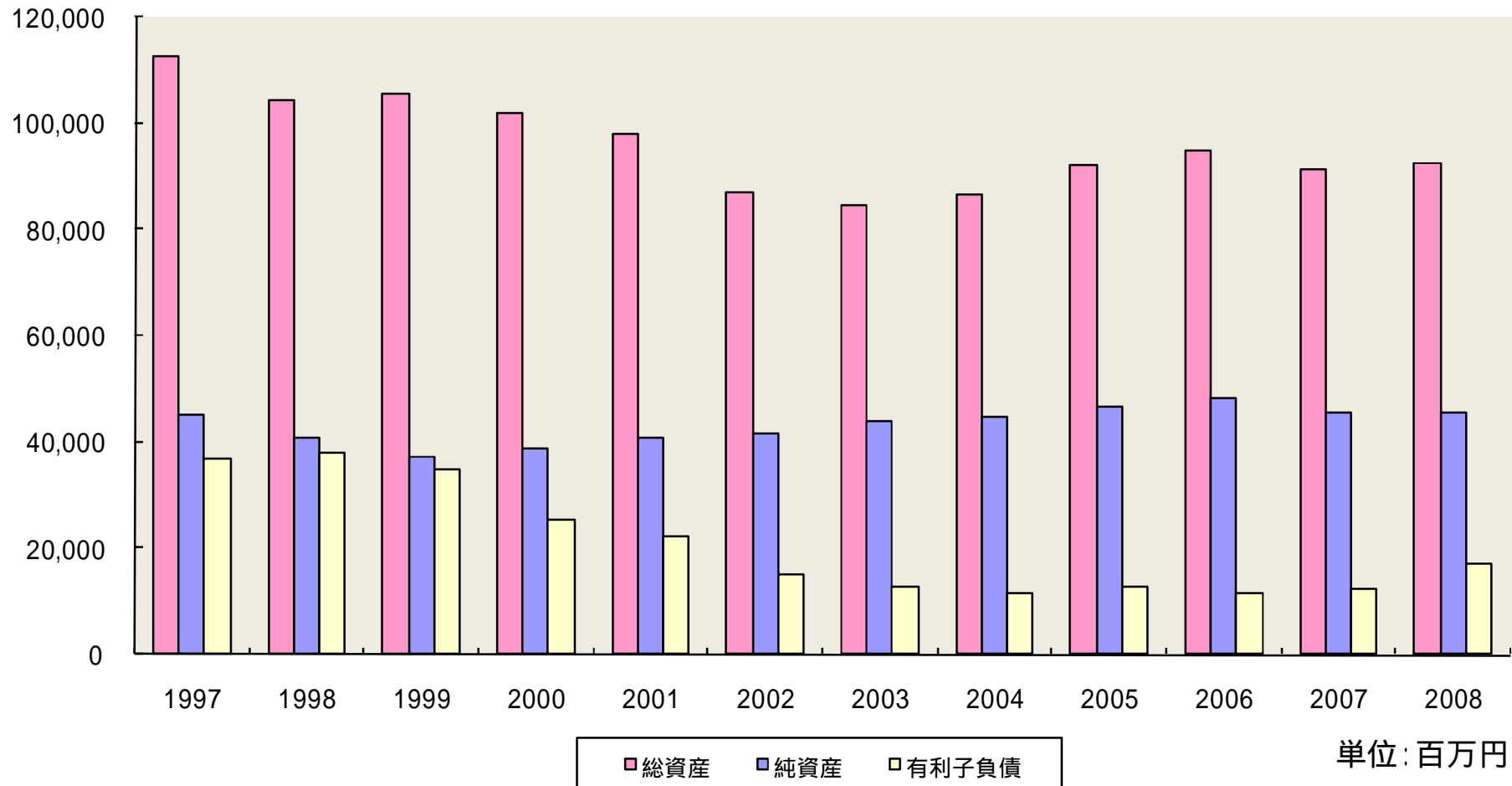
参考資料

【参考資料】 連結經營成績推移



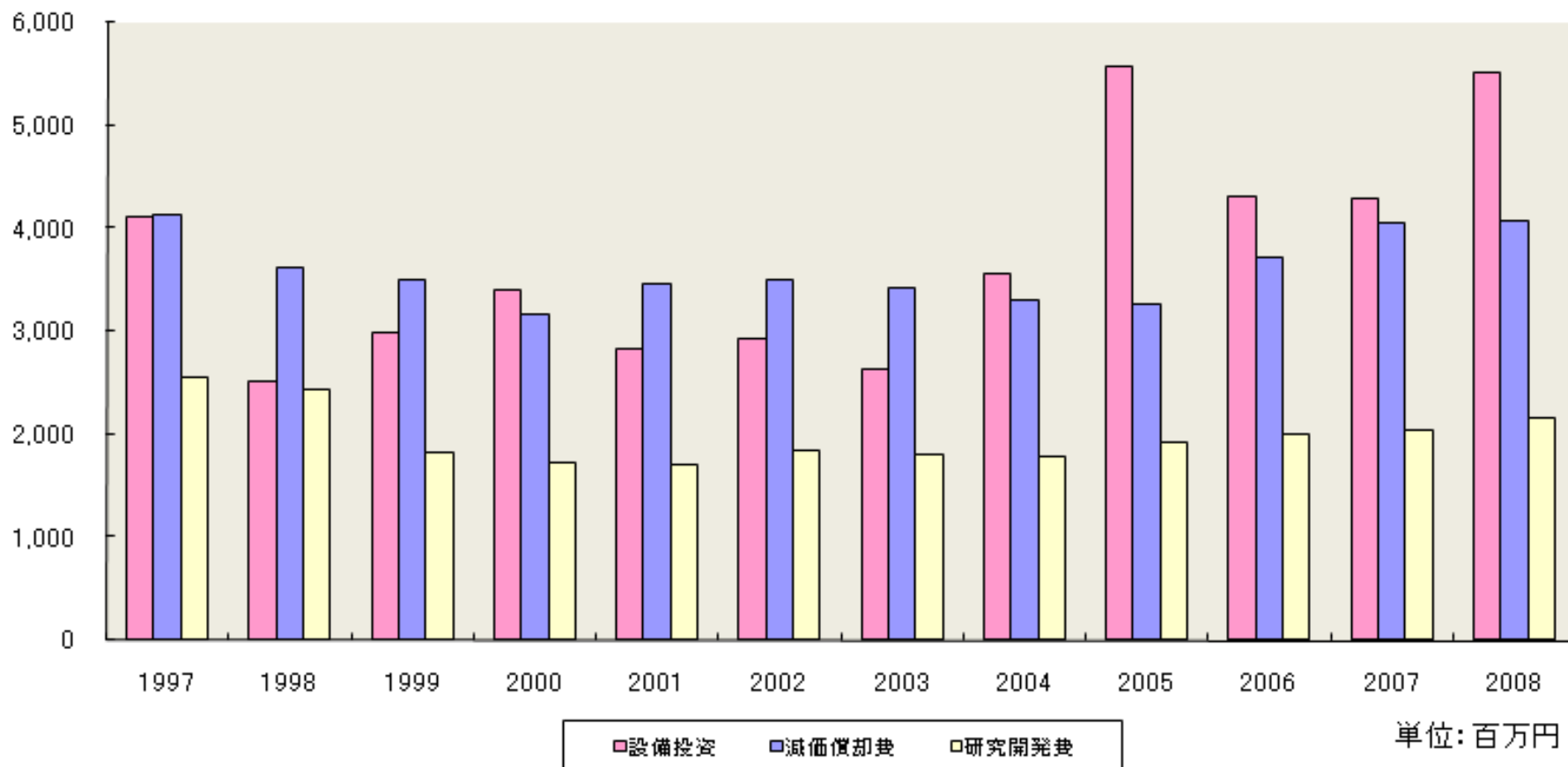
	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
売上高	79,252	79,155	89,501	94,827	94,830	87,244	85,228	86,781	81,020	79,423	78,448	85,244	89,254	94,896	98,561	96,102
営業利益	1,312	489	-693	-284	-584	-416	2,435	2,431	2,281	3,042	2,401	2,922	2,992	3,174	2,028	4,119
当期利益	1,086	696	-1,442	-549	-1,174	-4,191	-6,101	1,232	1,477	1,667	1,426	1,634	1,801	1,868	712	2,111

【参考資料】 連結財政状態推移



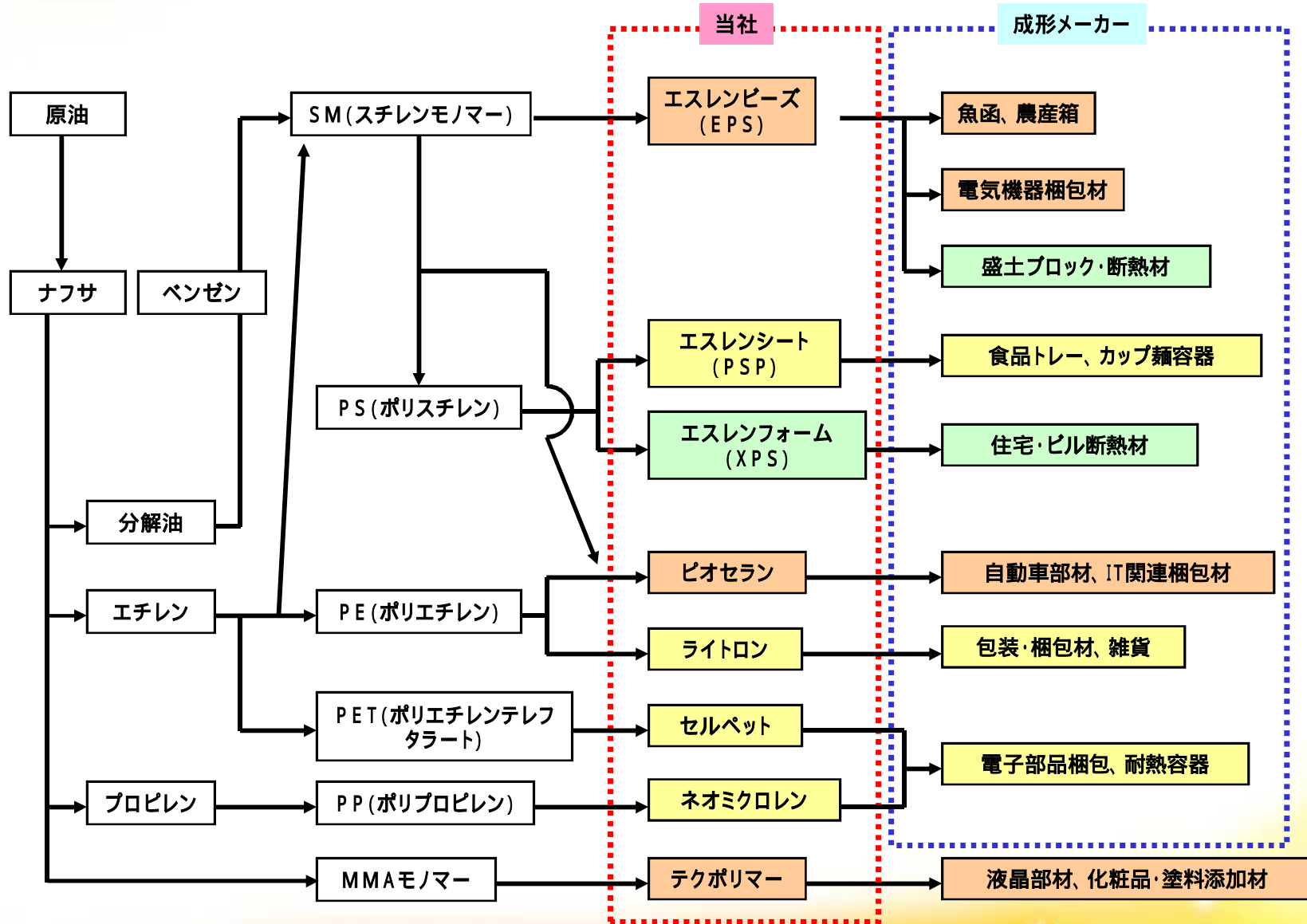
	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
総資産	112,500	104,155	105,558	101,994	97,935	86,963	84,488	86,641	91,900	94,869	91,328	92,553
純資産	44,975	40,784	36,984	38,572	40,822	41,338	43,742	44,514	46,437	48,186	45,551	45,285
有利子負債	36,584	37,778	34,616	25,450	22,189	14,974	12,445	11,597	12,441	11,298	12,196	17,151

【参考資料】 設備投資・減価償却費・研究開発費推移



	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
設備投資	4,108	2,505	2,989	3,401	2,828	2,924	2,617	3,551	5,568	4,293	4,281	5,500
減価償却費	4,128	3,610	3,497	3,161	3,456	3,495	3,422	3,296	3,250	3,720	4,050	4,060
研究開発費	2,537	2,427	1,810	1,724	1,706	1,827	1,791	1,770	1,914	1,998	2,034	2,150

【参考資料】 当社の主要製品と用途



【参考資料】 2008年度トピックス

2008/6/16	積水化成品、冷食用、発泡ポリエチレンシート、低温で割れにくく。(日経産業)
2008/7/12	発泡シート事業、カネカが売却へ、積水化成品に。(日経)
2008/7/16	積水化成品、台湾に発泡樹脂販売。(日刊工業)
2008/7/28	積水化成品、PSノポリオレフィン複合樹脂発泡体、自動車用途展開を加速、採用車種・部位の開拓進展。(化学工業)
2008/9/17	車用発泡樹脂の用途拡大、積水化成品、シート芯材に、海外企業にも販売。(日経産業)
2008/11/17	光反射板、柔軟に加工、積水化成品、電飾看板向け。(日経産業)
2008/11/19	積水化成品工業社長小野恵造氏 経済危機、逆に好機に(談話室) (日経産業)
2009/2/5	積水化成品、樹脂製貯水槽、道路地下に設置可能、コンクリより安価。 (日経産業)
2009/2/9	積水化成品、折板屋根緑化システムが阪急西宮ガーデンズで採用。 (石油化学)
2009/2/10	カネカ子会社のPSP事業、積水化成品が譲渡契約締結。(化学工業)
2009/2/20	積水化成品 ハイドロゲル事業 海外展開を強化。(化学工業)
2009/2/20	堺市、積水化成品堺など6社の固定資産税を軽減。(日経地方版)



ピーセルシート



アクアロード



折板屋根緑化システム

内容に関するお問合せは...

経営企画部(IR) (03)3347-9618 までお願いいたします。

当社のホームページもあわせてご覧ください。

アドレスは <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

本資料に記載されている見込、計画、見通しなど将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。